



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ



7月24～26日の日程で報恩講が勤まりました。梅雨明けやらぬ夏の熱気にも負けず、遠近各地から延べ300人の真宗門徒が参詣し、親鸞聖人のご遺徳を偲び静かに手を合わせる中で、「共にお勤めをし、共にお聴聞をする」という蓮如上人のご精神を受け継ぐ御仏事となりました。

愛知県岡崎市から4人の御同行と1泊2日で参詣をされた黒柳芳一さんは、「吉崎の報恩講には参らなきゃいかんと先輩方から伝えられてきた。」と遠路の疲れを全く見せずに本堂へと足を運ばれていました。



報恩講のお説教には、大聖寺教区・毫攝寺住職の出雲路修師、(写真)と小松教区・静光寺住職の伊藤俊作師をお迎えしました。両師には、非常に暑い中をねんごろにお話しいただきました。

真夏の報恩講へ、ようこそ
「吉崎別院、念仏の声いよいよ盛んに！」
ようこそ